

条例第18条の2第2項に規定する自主規制団体からの聴き取り結果

(平成30年8月1日実施)

	図 書 名 等	聴 き 取 り 内 容
1	<p>DAISY COMICS 調教覚醒BL</p> <p>平成30年6月30日発行</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・性器は白抜き修整がされているが、体液描写が多く、性的行為を露骨に描写している。人格否定の要素はないが、卑わいな感じを与える。指定該当 ・調教BLの読み切り作品を集めたものであり、タイトル通り拘束や器具等の使用が見られ、人格否定ととれる表現がある。修整はバラつきがあるものの、全般的に男性器の形がわかる甘いものとなっている。全体的に露骨な性表現が多く、指定該当 ・全編を通して性交シーンにおける擬音、体液描写が多く卑わいな感を感じる。男性器は白抜き加工されており一定の配慮が認められるものの、形状がリアルであり挿入シーンも露骨。器具を使用した暴力的なプレイも目立つ。指定やむなし。 ・アンソロジーのため、内容でポイントを作ろうとしているのは理解できるが、そのポイントが器具を軸にしているのか、刺激が強すぎると思われる。性器に消しを入れているが、直接的過ぎるため青年コミックでは難しいかと思われる。指定該当 ・男性器に白抜きの修整が施されているが、形状がはっきりわかる描写が多い。大人のおもちゃ、拘束具、媚薬等の使用が描かれており、露骨で卑わいな。擬音、体液の描写も激しく、卑わいな感じを与える。相手が同意した上でのプレイという形になっているのも多いとはいえ、調教シーンの絵柄は人格否定を連想させる。指定該当 ・作品によって差があるが、全体的には性器の形がわかるものが多く、挿入シーンもリアル。体液描写に粘着感がある作品や擬音の多い作品もある。縛りや拘束具、器具の使用、口や性器への無理やりな挿入シーンもあり、人格否定的といえる。短編集のため、ストーリー性が感じられないものも多く、総合的に判断して指定やむなし。 ・漫画の中で描かれている調教という行為がすぐさま人格を否定する性的行為に結びつくといえるかどうかは議論の分かれるところである。ただし性表現の露骨さという点においては、9作品中5作品において、性器の描き方、擬音、体液の描写が指定にあたる内容となっており、卑わいな感も強い。指定該当 ・器具を使って自由を奪い、性的行為を行うことは人格否定と思われるが、相手が喜んでいる場合に人格否定となるかは疑問。他は特に問題と思えず、性器も白抜きで消しており許容範囲内。ただしタイトルに調教とあり人格否定が前提とも考えられるため指定該当 ・男性器の形は白抜きにされているが、形状がリアルで陰毛も描かれている。ムチや縄等の器具の使用もあり、人格否定も見られる。裸体での2人の体位描写が部分的ではなく全身で描かれており、卑わいな感を感じる。指定該当 ・全編にわたり性行為の描写が多く卑わいな感が強い。性器も白抜きになっているが、リアル感があり、人格否定につながる器具の使用もあるため指定該当 ・擬音や体液の描写もあり、性行為も露骨である。これがどう青少年に悪影響を与えるかは判断に迷うところではあるが、やはり描写に卑わいな感が強く、印象に残るため指定やむなし。 ・修整が甘いところがあり、性描写も多く、指定やむなし。 ・性器の修整は白抜きになっており問題はないが、擬音、体液描写がリアルで多用されている。全般的に性交シーンが多く、ストーリー性は感じられない。器具を使用している箇所があるが、特に暴力性は感じられず、人格否定というほどではない。想定される読者層を考えると、青少年に悪影響を与えるとまでは言い切れないため保留 ・アンソロジーのため性行為の描写が多い印象。局部への消しは一定の配慮がなされているが、一部卑わいな度合いが強く感じられる。BL作品なので青少年が著しく性的感情を刺激するジャンルとは思えない。指定非該当 ・性器も消してあり問題はないと思われる。人格否定の部分もあるが、ストーリー上しかたない所もある。1冊1,000円という高価な本を青少年が買うとも思えない。指定非該当